

教育振興運動メールマガジン

「みんなで教振！」通信 ～ 今こそ“地域の底力”で立ち上がろう ～

< 目次 >

- 1 【教振運動】10か年プロジェクトの目指すもの
 - 2 【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録
 - 3 【編集後記】あつしのひとりごと
-

1 【教振運動】10か年プロジェクトの目指すもの

教育振興運動は、平成17年度を“みんなで教振！元年”と位置付け、『みんなで教振！10か年プロジェクト』を開始しました。運動推進40周年を迎えた平成16年度当時、以下の5点の運動推進上の課題が見られました。10か年プロジェクトはその改善を図るためのものです。

< 10か年プロジェクト開始当時の課題 >

- (1) 教育振興運動のねらいや目標の理解不足により、目標を持たない活動（例年通りのマンネリ化した活動）が見られる。
- (2) 市町村の運動推進組織、実践区組織に硬直化が見られる。
- (3) 地域課題・教育課題の掘り起こし作業が吟味されていない。
- (4) 活動が一部の人に限定され、運動に対する教員の意識も低い。
- (5) 運動に取り組むことが地域づくりにつながるという視点が不足している。

この10か年プロジェクトも今年度で7年目を迎えましたが、皆さんの市町村や地域ではこれらの課題は解決されたでしょうか。

今年度の教育振興運動推進状況調査によると、市町村・地区における課題・悩みの第1位は「活動が一部の人に限定されている」であり、72.7%の市町村・地区が回答しています。7年間取り組んできてもなお、多くの市町村において、平成16年度当時の課題が改善されていない状況です。

平成23年度教育振興運動推進状況調査の結果

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/H23soukatuhyou.pdf>

⇒ http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/H23_7years.pdf

県では、市町村の運動推進上の課題の解決のために、以下の5点を提示し、また市町村や地域の実情に応じて個別に訪問して支援してきました。

- (1) 5者の役割と取組内容を明確にする「モデル・プログラム」の提示

- (2) 「全県共通課題」に取り組むことによる、運動のP D C Aサイクル化と評価の可視化の奨励
- (3) 「全県共通課題」と「まなびフェスト」の共通目標化による社会教育と学校教育の連携及び学校・地域・家庭の連携の強化
- (4) 教員初任者と中堅教員への学社連携の講義、地域との窓口となる教員の研修会参加による運動の理解促進
- (5) メールマガジンによる運動理念の啓発及び県内の実践事例の紹介

教育振興運動は、「地域の教育課題を地域住民が自ら解決する運動」であり、“何に取り組む必要があるのか”は各地域が考えるものです。しかし、「課題意識を共有し、その解決を図るという目標を持って活動に取り組み、課題が解決されたかどうかを客観的に数値として評価する」というプロセスは共通です。

そこで、5者の役割と取組内容を明確にする「モデル・プログラム」やすべての保護者・先生・子どもが運動に関わる「全県共通課題」に取り組むことで、活動者が一部の人に限定されるという課題も解決されるはずです。

市町村においては、“P D C Aサイクル”におけるC（評価）、A（改善）の時期だと思えます。今年のD（実践）を感想ではなく数値として評価し、市町村及び地域住民全員で共有しましょう。ここで、雫石町の実践を紹介します。

雫石町「広報 教育しずくいし」No 82

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/shizukuishi82.pdf>

雫石町「広報 教育しずくいし」No 83

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/shizukuishi83.pdf>

一部の人しか参加しないのは、一部の人だけで評価を確認し、地域住民全員で問題意識を共有できていないことに起因しているかもしれません。

また、一部の人しか参加しないことが課題なのであれば、24年度はその改善を図るための活動を考えて取り組んでいきましょう。C（評価）、A（改善）を踏まえた24年度のP（計画）を検討していきましょう。

2【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録

(振ちゃん) 皆さん。教育振興運動イメージソングの歌詞募集にたくさん応募していただき、ありがとうございました。

(教ちゃん) 1か月の間に、287作品もの応募がありました。ホントにありがとうございます。教ちゃん、感激っ！

- (振ちゃん) 審査の結果、次の皆さんの5作品を選ばせていただきました。
- 阿部明日華さん(盛岡市立北松園小学校 6年)
 - 佐藤 優美さん(大船渡市立大船渡中学校 1年)
 - 千葉 信さん(一般、奥州市)
 - 岩泉町立小川中学校生徒会の皆さん〔共同作品〕
 - 花巻市立桜台小学校「桜台学童クラブ」の児童・保護者の皆さん〔共同作品〕
- (教ちゃん) おめでとうございます！
- (振ちゃん) この5作品を清心さんが1つの歌詞に編集して、作曲をしてくださるんだ。きっと、素敵なお歌になるよ。早く聴きたいよね。
- (教ちゃん) そうね。楽しみだわ～！そうそう、楽しみと言えば、大槌町の中学生の学習支援の様子がテレビで放送されるのよ。
- (振ちゃん) へえ～。放送日はいつなの？
- (教ちゃん) 次のとおりよ。
- 3月12日(月) 19:55～20:00 IBC岩手放送
 - 21:54～22:00 テレビ岩手
 - 3月13日(火) 18:54～19:00 テレビ岩手
 - 3月15日(木) 18:55～19:00 IBC岩手放送
 - 23:10～23:15 岩手朝日テレビ
 - 3月18日(日) 17:25～17:30 岩手めんこいテレビ
- (振ちゃん) NPOと地域の皆さんが子どもたちの頑張りを応援している様子を見ることができるんだね。
- (教ちゃん) 学習支援のために場所を提供している吉祥寺住職の高橋さんがとても優しくてかっこいいの～！うふ！ 皆さん、見て下さいね！
-

3【編集後記】あつしのひとりごと

<地理；3大洋の覚え方>

⇒平嶋(太平洋)も河西(大西洋)も、チームBでいいんだよ(インド洋)

<歴史；ペリー来航の年号の覚え方>

⇒着物あっちゃん、かわいや降参(1853年)、ペコリ(ペリー)

<公民；三権分立の覚え方>

⇒立派(立法)な司会(司法)行う(行政)麻里子様は、超キュート(モンテスキュー)！

あっちゃん、たかみな、ともちん、ゆうこ、まゆゆが表紙を飾る「AKB48 中学社会(学研教育出版)」の中には、このような“AKB式暗記法”がたく

さん登場し、AKB48と一緒に楽しく勉強ができるようになっています。

「今時の中学生は、どのような方法で勉強をしているのか？」と、思わず買ってしまいました。しかし、一番参考になったのは顔写真付きの「AKB48メンバー紹介」のページで・・・これでやっと名前と顔を一致させることができそうです！

“AKB式暗記法”は???ですが、某市長による「小中学生の留年」発言の是非は別として、「すべての子どもに力をつけさせる」ということには、しっかり取り組んでいく必要があると思います。

そのためには、学校教育の取組だけではなく、しっかり復習させて定着させるという家庭における役割と責任も確認する必要があるのではないのでしょうか。年度初めの教育振興運動の話し合いにおける問題提起になりそう・・・ですね。

★メルマガの感想や日頃思っていること、意見・要望をお寄せください。

感想・意見・要望はこちら。⇒ 21kyoushin@gmail.com

⇒ 第64号は、3月13日（火）配信です。

★バックナンバー（第1～62号）はこちら。

⇒ http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/merumaga_backnumber.html

★全県共通課題（家庭学習と読書推進）の実践事例はこちら。

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/zenkenjirei.html>

★メルマガで紹介しました資料はこちら。

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/shoukaijirei.html>

～～～配信元～～～

*岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化課

*発行人：教育振興運動担当 佐藤敦士（さとう あつし）

転送はご自由です。どんどん転送してください。口コミは、あなたから始まります。「みんなでやろう！」という雰囲気をあなたから作りだしてください。

～～～